

「PM Award 2024」 応募要項

Application Guideline for PM Award 2024

2024年4月
一般社団法人 PMI 日本支部



はじめに

近年、社会環境や個人の嗜好・ニーズが変化する中、日本においてもその変化に対応していくためのプロジェクトが数多く実施されています。IT や最新技術を活用したデジタルトランスフォーメーションの取組みや、人やコミュニティの可能性に着目した取組みなど、手段も多種多様です。単独の企業で実施しているプロジェクトから産官学連携やコミュニティ同士の連携で実施しているものまで、従前の枠を超えた協力により、より大きな成果の実現や社会貢献の達成を目指したプロジェクトもあります。

一方、世界最大規模のプロジェクトマネジメント普及啓発団体である PMI®では、POWERING THE PROJECT ECONOMY®と呼んでいます。世界各地で数多くのプロジェクトが実践され、プロジェクトに関わる人材が活躍すること、をご支援し、より良い社会を作っていくことを目指しています。

このため、PMI®では、PMBOK®に代表される各種知識体系の提供や PMP®に代表される各種資格認定、プロジェクトに関わる人材に必要なとされる多彩な知識習得が可能な各種トレーニングの提供、表彰制度の実施、などを通じてプロジェクトに関わる人材を支援し、プロジェクトを成功に導くための活動を行なっています。

PMI 日本支部では、日本の各業界でプロジェクトに関わる人材が相互に研鑽する場として各種研究活動や部会活動を実施しているほか、活動成果の情報共有、各種の社内外向けのセミナー開催などを通じて、プロジェクトマネジメントの普及・啓発活動を積極的に行なっています。

PMI 日本支部として、PM Award では、日本のプロジェクト、プロジェクトマネジメントの発展に貢献していくため、

- (1) 優れたプロジェクト、プロジェクトマネジメントを実践された方々を称えること
- (2) 優れたプロジェクトを多くの方々に知っていただき、新たなプロジェクトやアイデアを生み出すことやプロジェクトマネジメントの実施方法の参考にできるようにすること
- (3) プロジェクトやプロジェクトマネジメントに多数の方に興味・関心を持っていただくようにすること

を取組みを通じて実現していきたいと考えています。

このような考えのもと、日本発の優れた取組みを実践されているプロジェクトを募集いたします。皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

2024 年 4 月
一般社団法人 PMI 日本支部
PM Award 事務局

1. 募集概要

募集概要は以下のとおりです。

募集期間	2024/4/9(火)~6/7(金)
募集対象	日本のあらゆる実施主体（団体、企業、地方公共団体、その他産官学問わず。複数組織によるものも可。）により実施されたプロジェクト
募集するプロジェクト	個別団体・企業等や地域、グローバルでの個別課題への取組み や社会や社会課題解決への貢献を目指した取組み
募集区分	(i) Large 部門 (ii) Small & Medium 部門
選考方法	・応募フォームと参考資料により、選考委員会を経てファイナリスト決定 ・ファイナリストによるセミナーでのプレゼン（プレゼン15分、Q&A5分程度）により、視聴者投票で最優秀賞・優秀賞決定 ・特別賞、奨励賞は、協賛団体企業・選考委員会による選考により決定
応募方法	PM Award 2024 の応募フォームに必要事項を記入し、必要に応じて参考資料を添付して応募。 (Sharefile またはメールで Word ファイルを提出。同方法が不可の場合は、自社で利用可能なファイル共有システムにより提出。)

スケジュール
概要



2.募集詳細

2.1. 募集要件

2.1.1.概要

募集対象となるプロジェクトは以下のとおりです。

- (i)日本国内でのプロジェクト、または日本に拠点を持つ企業・団体等によるプロジェクト
- (ii)プロジェクトについて国内外問わず広くご紹介が可能であること
- (iii)プロジェクトの予算や規模は、小さなものから大きなものまで制限なし
- (iv)実施主体や分野についての制限なし
- (v)プロジェクトは、2023年1月~2024年12月に完了もしくは完了見込みであること
- (vi)過去ご応募されたプロジェクトも、あらためてのご応募が可能（過去開催回において、ファイナリストに選出されなかったプロジェクトが対象となります）

2.1.2.詳細

- (i)日本国内でのプロジェクト、または日本に拠点を持つ 企業・団体等によるプロジェクト

本 Award では、日本がリードする優れた取り組みを表彰対象とします。

このため、日本の企業・団体のみでなく国外企業・団体であっても日本に拠点を持つ企業・団体がリードする国内プロジェクト、または日本の企業や団体がリードあるいは大きな役割を担って参画する国外プロジェクト・多数国を跨ぐプロジェクトを対象とします。

(ii) プロジェクトについて国内外問わず広くご紹介が可能であること

本 Award では、受賞されたプロジェクトを日本国内はもちろんのこと、できる限り海外でも広く知っていただくことも目標としています。このため、ファイナリストに選出されますと、PMI 日本支部が実施するセミナー等での講演、取材対応等に応じていただくことになるため、プロジェクトで得られた知見やご経験を他者の参考になる形でご紹介いただけるプロジェクトが対象となります。

また、PMI[®]や各メディアと連携した取材、記事公開等もさせていただきます場合があります。

(iii) プロジェクトの予算や規模は小さなものから大きなものまで制限なし

社会課題・組織課題への対応や新たな価値を生み出す取り組みは様々な場面で行なわれており、それに対応するプロジェクトは大きなものから小さなものまで様々な形で実施されています。このため、プロジェクトの予算や規模についての制限は特に設けません。

(iv) 実施主体や分野についての制限なし

民間、公共、公益法人等実施主体や業種業態の種別は問いません。

もちろん、産官学による連携プロジェクトや、複数企業による業種業態を越えた共同プロジェクトなども対象となります。

(v) プロジェクトは、2023 年 1 月～2024 年 12 月に完了もしくは完了見込みであること

プロジェクトの完了、完了見込みの時期は、基本は 2023 年 1 月～ 2024 年 12 月とします。

ただし、実施中のもの、継続中のもの、についても、応募することができます。

(vi) 過去ご応募されたプロジェクトも、あらためてのご応募が可能

過去開催回において、ご応募いただいたものの惜しくもファイナリストに選出されなかったプロジェクトは、あらためてご応募いただくことができます。プロジェクトのステージが進み、より大きな成果が出ていることを期待しています。

2.2.募集区分

2.2.1.概要

募集区分は以下の 2 つです。ご応募の際にはいずれかの区分を選択してください。

(i) Large 部門

(ii) Small & Medium 部門

2.2.2.詳細

それぞれの募集区分については下表のとおりです。

募集区分は、プロジェクトを実施する企業・団体等の規模（常時使用する従業員数）に応じたものです。業種分類は、中小企業基本法の定めに基づきます。

表. 募集区分

エントリー区分	説明
(i)Large 部門	プロジェクトを実施する企業・団体等の常時使用する従業員等の数 製造業その他 常時使用する従業員等数が 301 人以上 卸売業 常時使用する従業員等数が 101 人以上 小売業 常時使用する従業員等数が 51 人以上 サービス業 常時使用する従業員等数が 101 人以上
(ii)Small & Medium 部門	プロジェクトを実施する企業・団体等の常時使用する従業員等の数 製造業その他 常時使用する従業員等数が 300 人以下 卸売業 常時使用する従業員等数が 100 人以下 小売業 常時使用する従業員等数が 50 人以下 サービス業 常時使用する従業員等数が 100 人以下

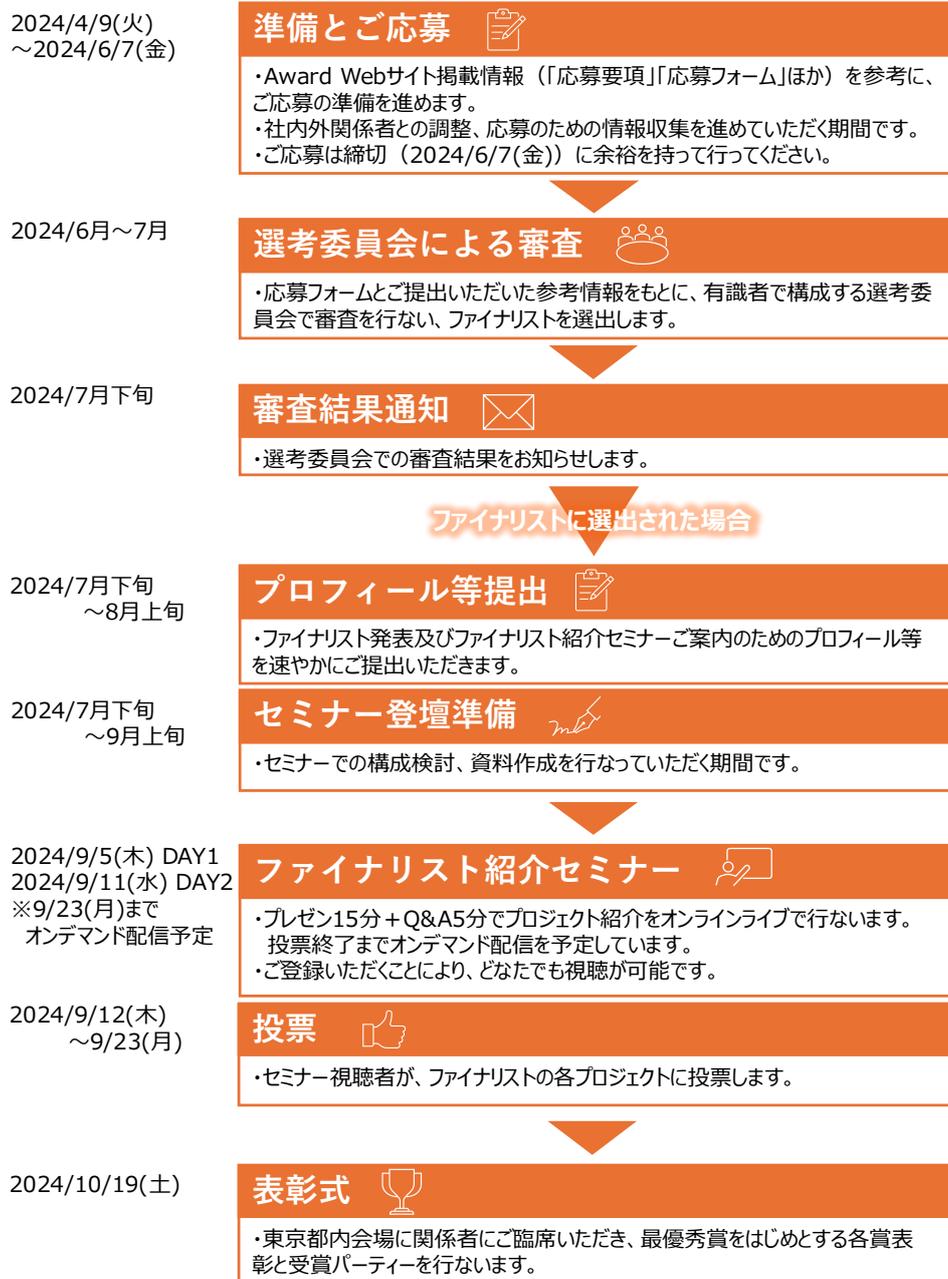
注1) 但し、プロジェクトを複数の企業・団体が参加して実施した場合には、参加各企業の従業員数等の合計をもって応募区分を定めることとします。

注2) 業種分類が異なる企業・団体が複数参加している場合は、従業員数の制限が一番大きい業種分類の基準を適用します。

- 例1) 製造業 A 社従業員数 250 人、小売業 B 社従業員数 30 人 が参加したプロジェクトの場合は、従業員等数の合計は 280 人となり、「製造業その他 常時使用する従業員等数 300 人以下」が適用され、(ii)Small & Medium 部門 での応募となります。
- 例2) 卸売業 C 社従業員数 80 人、小売業 D 社従業員数 30 人 が参加したプロジェクトの場合は、従業員等数の合計は 110 人となり、「卸売業 常時使用する従業員等数が 101 人以上」が適用され、(i)Large 部門 での応募となります。

2.3.ご応募の準備から表彰までの流れ

ご応募いただくための準備から、ご応募～表彰までの流れは以下のとおりです。



※最優秀プロジェクト賞受賞者には、2024/11/9(土)・10(日)開催のPMI Japan Festa 2024での招待講演をお願いする予定です。

2.4.賞について

(i) 最優秀プロジェクト賞 2件（募集区分毎に1件）

ファイナリストのうち、投票により最も優秀と認められたプロジェクト。

(ii) **優秀プロジェクト賞 若干数**

ファイナリストとして、選考委員会により選出されたプロジェクト。

(iii) **特別賞 若干数**

選考委員会、協賛企業・団体により、特に優れた点が認められたプロジェクト。

(iv) **奨励賞 若干数**

選考委員会において、奨励に値すると認められたプロジェクト。

[参考] 前回「PM Award 2023」での受賞プロジェクトは、以下 URL でご紹介しています。

授賞式、セミナー、受賞者インタビュー動画を公開していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.pmij-award.net/pmaward2023>

2.5. 応募費用

無償となります。ご応募される方の費用のご負担はありません。

2.6. 応募締切日、応募方法等

(i) 応募締切日は、2024年6月7日（金）です。

(ii) ご応募は、以下の手順で行ってください。

① 「応募フォーム」をダウンロードする。

・次の URL<<https://pmij-award.net/>>から、「応募フォーム」(Word ファイル： PMAward2024 応募フォーム.docx) をダウンロードします。

② 「応募フォーム」に記入する。

③ 「応募フォーム」(必要に応じて参考情報ファイルも併せて)を提出する。

・記入した「応募フォーム」の Word ファイル、必要に応じて参考情報ファイルを、次の URL<<https://pmi-japan-chapter.sharefile.com/r-re344cefaca4341aa86977ed618ae6282>>にアップロードしてください。

事務局では、アップロードの完了をもって応募受付完了と判断します。

※注) 応募される方の IT 環境のセキュリティ対策状況によっては、上述 URL からのアップロードができない場合があります。この場合は、メールでの添付または応募される方がご所属されている団体・企業で利用されている社外とのファイル共有サービス等をご利用になり、「応募フォーム」等をご提出ください。
メールでの添付もしくはファイル共有サービスでご提出いただく際のメールアドレスは以下をご指定ください。

PM Award 事務局 代表メールアドレス <<mailto:award@pmi-japan.net>>

(iii) その他留意事項

① ご応募受付後、PM Award 事務局からご連絡させていただく場合があります。

- ・ご応募 受付後、ご 応募内容の確認を行います。
- ・ ご応募内容に不備がある場合など、事務局から直接ご連絡させていただく場合があります。

② ご応募は、プロジェクトによる自己推薦となります。

- ・ PM Award 2024 では、「自己推薦」のみのご応募を受け付けます。他者による推薦でのご応募は受け付けません。

2.7.選考プロセス

前述の「2.3.ご応募の準備から表彰までの流れ」でもご案内しておりますが、選考は以下の2段階で行ないます。

(i)ファイナリスト選定

<有識者で構成する選考委員会が、ファイナリストとして認められるプロジェクトを選出>

- ・有識者で構成する選考委員会により、ご応募されたプロジェクトのうち、特に優れた点が認められるファイナリスト（募集区分毎に4社を予定）を選出します。
- ・ご応募いただいたプロジェクトのご担当者にインタビューを実施する場合があります。
- ・選考結果はメールにて、ご応募いただいたプロジェクトにご連絡いたします。

(ii)「ファイナリスト紹介セミナー」・「投票」

<セミナーの視聴者による投票で、最優秀プロジェクトを選出>

- ・各ファイナリストには、「ファイナリスト紹介セミナー」でプロジェクトについてご講演いただきます。このセミナーの視聴者によるオンラインでの投票を行ない、最高得点を獲得したプロジェクトを最優秀プロジェクトとします。

2.8.評価基準

2.7.の選考では、以下に示す4つの評価基準を適用し、総合的に評価します。

(i)プロジェクトマネジメントの工夫

・目的に合った手法・工法の導入や、想定リスクを予測した対策等、プロジェクトの成功確率を高めるためのプロジェクトマネジメントに関する工夫が実践されているもの。

例) PMBOK®に基づき、プロジェクト事情を踏まえて重点的に対処すべきポイントを定めて対応を実施している。

例) リスク発現確率が高い中で、戦略的な先行検証を実施する取り組みにより、リスク低減を図っている。

例) プロジェクト成功のためには、業界横断の協力が不可欠であったことから、ステークホルダマネジメントやコミュニケーションマネジメントで通常と異なる特段の工夫を行なっている。

(ii)新規性・独自性

・新たな技術や手法の適用や、独自性のある取り組みが実践されているもの

例) 導入例が少ない技術や手法を適用して、工事を安全かつ成功裏に完了させた。

例) これまでにないサービスの組み合わせにより、新たなサービスを実現した。

例) 収益化が通常は難しいサービスについて、ビジネススキームを工夫することでエコシステムを形成した。

(iii)組織的なアジリティ・価値の向上

・企業や団体そのものや、地域連携、業界連携、サプライチェーンなどの組織的な観点で、従前よりも俊敏性や価値向上を実現しているもの

例) 企業内での多端末現象を引き起こしていたITシステムを統合し、飛躍的な生産性向上を実現した。

例) 自治体を越えた河川情報の共有などを通じて、防災・減災のための予報を正確かつ早期に広域にわたって行なうことができるようにした。

例) サプライチェーンに着目して、円滑なデータ授受や処理を実現するにあたりボトルネックになる点を見出し、関係する他

企業と協力してSCMの高度化を行なった。

(iv)社会や社会課題解決への貢献

・地域社会、日本全体、グローバル等の各視点またはいずれかの視点において、社会や社会課題解決への優れた貢献が実現されているもの

例) 過疎化・限界集落化が進んでいる地域において、生き甲斐づくり、健康増進などの、創意工夫をもって人材育成を行な

っている。

例) 資源インパクトの少ない自然エネルギー発電を実現することにより、CO₂排出量の削減に大きく貢献している。

例) 先進的・独自性のある取り組みを行なうことにより、変革を生み出す多数の人材育成を行なっている。

2.9. 提出情報等の取り扱い

ご応募いただいた情報など PM Award での応募、選考の過程で収集した情報について、以下のとおり取扱い方針を定め、細心の注意をもってプライバシー及び個人情報等情報の保護に努めます。

(i)利用目的について

収集した情報は、次に示す目的にのみ利用します。応募者の同意を得ないまま、利用目的以外への利用はいたしません。

- ・「PM Award」でのプロジェクトの選考を行うため
- ・「PM Award」に関する広報、宣伝、報告、分析を行うため

※一般への公開が不可、の情報についてはご提出の際にその旨を明示してください。

(ii)第三者への提供・開示について

収集した情報は、「PM Award」の選考・広報・宣伝のため、次の場合に限り第三者への提供・開示を行う場合があります。提供・開示する情報は必要最低限の範囲とします。なお、以下以外の第三者への提供を行う場合は、応募者の同意を得ることとします。

- ・「PM Award」におけるプロジェクトの選考を行う際の選考委員、後援・協賛等企業及び団体、法人スポンサーへの開示
- ・ファイナリストに選出された際のセミナーでのプロジェクト情報の開示
- ・その他 PMI 日本支部、PMI,Inc,からの「PM Award」や関連する取り組みに関する広報、宣伝

2. 10.その他

(i)ファイナリスト・特別賞・奨励賞に選出された場合のご対応について

- ・ファイナリストに選出されますと、「ファイナリスト紹介セミナー」(2024年9月5日(木)、11日(水)開催予定)で20分程度のご講演(プレゼン15分+Q&A5分)を行なっております。セミナーには、どなたでもご登録いただくことにより参加が可能です。
- ・ファイナリストには、ご自身のセミナーご講演終了直後にインタビューに応じていただき、そのインタビュービデオを後日一般公開させていただきますので、ご承知おきください。
- ・また、2024年10月19日(土)開催予定の「表彰式」「受賞記念パーティー」にご参加いただきます。会場は東京都内を予定しております。

(ii)最優秀プロジェクトに選出された場合のご対応について

- ・最優秀プロジェクトに選出されますと、「PMI Japan Festa」(2024年11月開催予定)でご講演いただきます(30分程度)。

(iii) ご応募いただいた全ての方々について

・個別にメディア等含めた取材に応じていただく場合があります。その際には事務局よりご連絡申し上げます。

本件問い合わせ先

一般社団法人 PMI 日本支部 PM Award 事務局

<award@pmi-japan.net>